

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.11.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2018.11.29)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} ／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,500 m ³	-200 m ³	①	77 %	183600 / 250700 (73%)	・フランジタンク解体片 2018年11月末時点でコンテナ884基保管。 エリアP1 コンテナ数：654基 (2015年6月15日～) エリアAA コンテナ数：230基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	61,700 m ³	0 m ³	—	97 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	4,400 m ³	+100 m ³	②	55 %		
		N	屋外集積	0.01未満	4,900 m ³	0 m ³	—	49 %		
		O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	0 m ³	—	85 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	47,900 m ³	-300 m ³	③	75 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %		
		V	屋外集積	0.01	3,900 m ³	+500 m ³	④⑤⑥	65 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	7,600 m ³	+800 m ³	⑥	21 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %	38300 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	+100 m ³	⑦	88 %		
		P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	+100 m ³	⑥	62 %		
		W	シート養生	0.03	8,100 m ³	微減 m ³	—	26 %		
		X	シート養生	0.01	7,900 m ³	0 m ³	—	65 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100 %	19000 / 31700 (60%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m ³ ）増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	15 %		
		E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19 %		
		F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
		Q	容器	0.04	1,000 m ³	0 m ³	—	17 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	11,700 m ³	+600 m ³	⑧⑨⑩	26 %	11700 / 45600 (26%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m ³ ）増加。 (2018年2月)
合計（ガレキ）				252,400 m ³	+1,700 m ³	—	60 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	+100 m ³	—	63 %	96700 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増 m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %		
合計（伐採木）				134,000 m ³	+100 m ³	—	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	51,900 m ³	-1,900 m ³	⑪	73 %	51900 / 71200 (73%)	・使用済保護衣等焼却量 5261t（2018年11月末累積） ・焼却灰（プラスチック含む）のドラム缶数 1141本（2018年11月末累積）	
合計（使用済保護衣等）				51,900 m ³	-1,900 m ³	—	73 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①一時保管エリアJへ瓦礫の移動 ②一時保管エリアBからの移動 ③一時保管エリアCへ瓦礫の移動 ④構内一般廃棄物保管 ⑤構内瓦礫保管
⑥タンク関連工事 ⑦一時保管エリアP1からの移動 ⑧1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑨構内所有者不明物品の受入 ⑩一時保管エリアWからの移動 ⑪焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

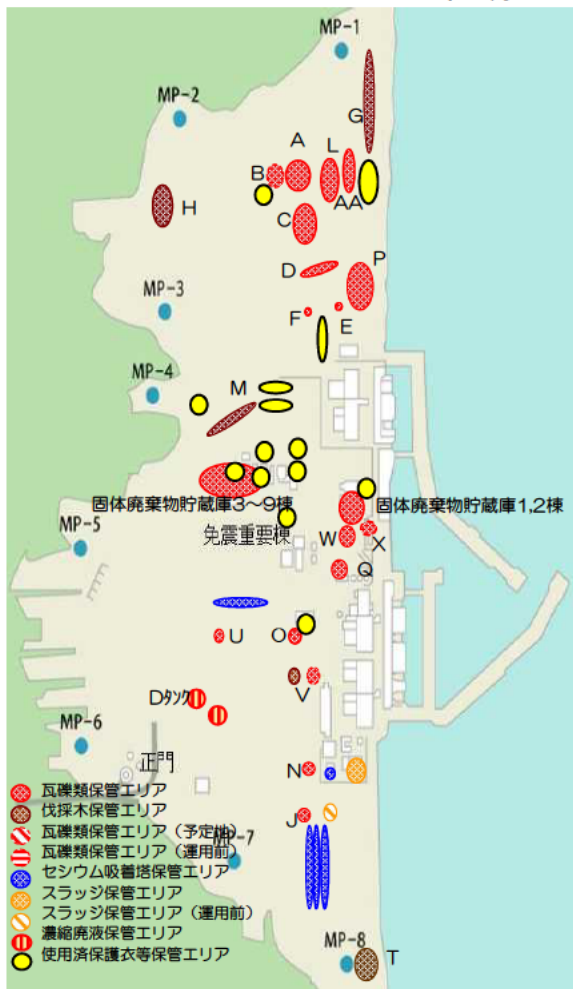
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.12.6時点)

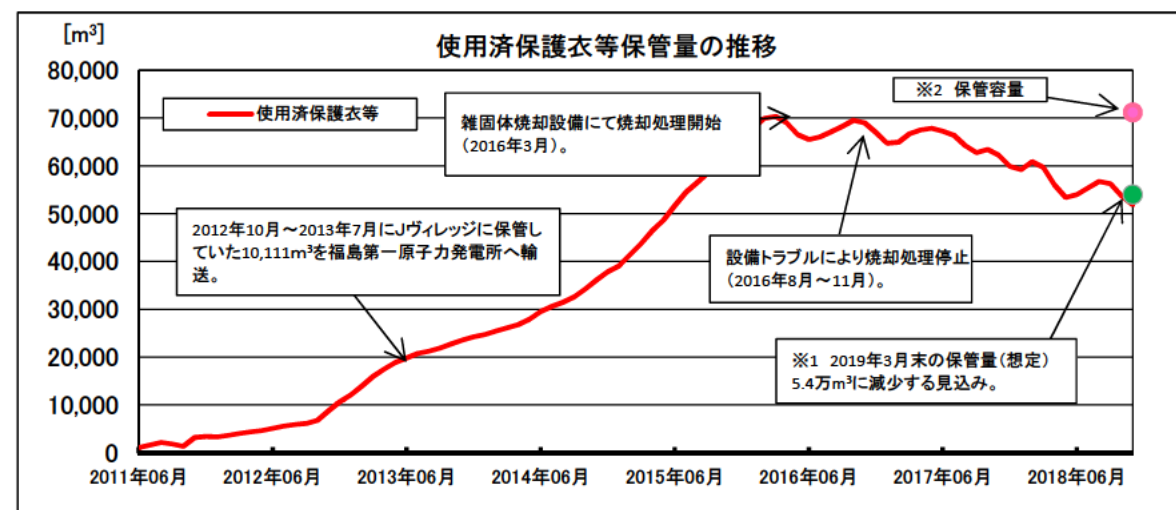
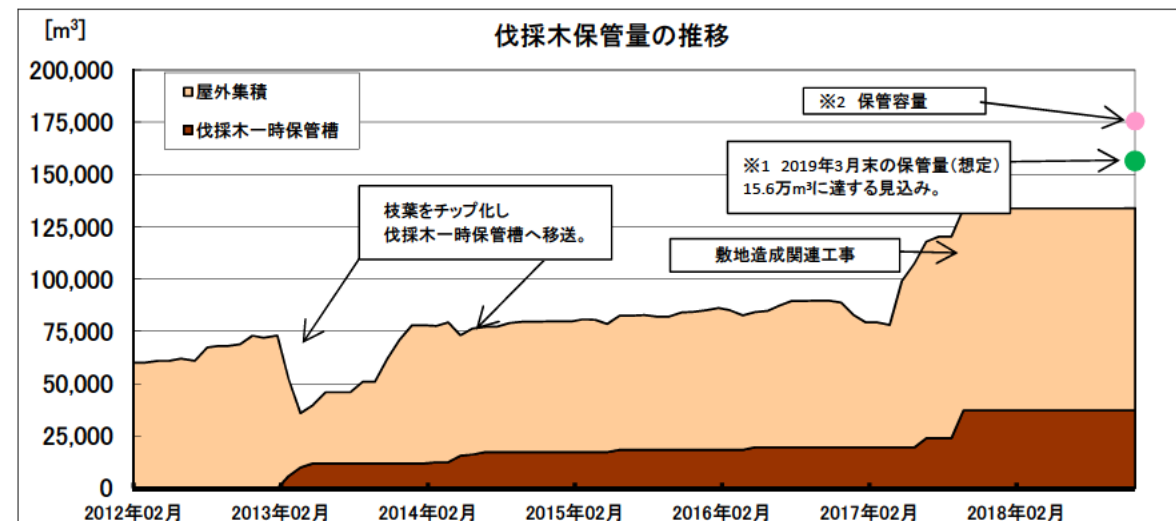
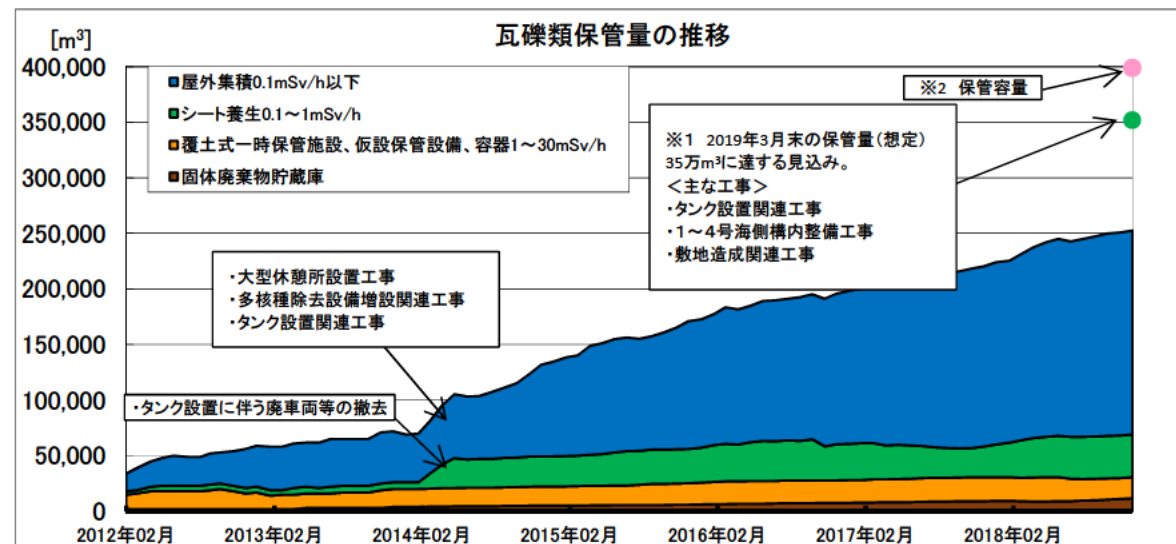
分類	保管場所	222222	保管量	前回報告比 (2018.11.29)	保管量／保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4226 / 6372 (66%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	208 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設 1,574 ^{※1} 基	+23 基		
			増設 1,385 ^{※2} 基	+25 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	既設 11 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	203 本	0 本		
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,352 m ³	-12 m ³	9352 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9252 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,574基 【誤】1,557基（2020.3.4）

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,385基 【誤】1,402基（2020.3.4）



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.11.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.12.6時点)

